



變光星課報告 (37)

倉敷 小山 秋雄

1936年2月中の觀測報告數

氏名	今津績	木邊成磨	加藤孝一	沓掛七二	笹部榮一	伊達英大郎	佃 泰三	鈴木一男	小澤喜一	井澤正男	西井宗一	安武研二	横山徹郎	河合孝一	小山秋雄	合計
星數	2	33	15	10	0	0	8	0	23	0	26	1	0	10	9	69
觀測數	2	234	79	26	0	0	24	0	145	0	148	3	0	103	43	807

●寒氣並に天氣よくなかつたため觀測者、觀測數共に相當の減少を見た。

流星課月例報告 (59)

昨年7月及8月の觀測者及觀測數は下表の如くである。

觀測者	觀測地	7 月			8 月		
		回数	時間數	流星數	回数	時間數	流星數
淺居 正雄	横濱市	3	340	24			
本田 實	鳥取縣八東	3	245	69	1	60	15
小槇孝二郎	和歌山縣金屋	4	317	72	3	281	99
勝浦 茂雄	南米ブラジル	13	1260	234	1	70	17
小槇 茂代	和歌山縣金屋	9	1160	173	9	964	276
大窪 文秀	南米ブラジル	3	655	99	7	630	70
宇野 良雄	京都市	14	1130	169	8	875	242
吉井 耕一	和歌山縣金屋	15	2970	647	10	2566	706
安武 研二	福岡市	9	555	137			
金屋觀測隊	和歌山縣金屋	1	90	283			
長府觀測隊	山口縣長府				1	80	133

7月下旬—8月上旬の水瓶座 δ 流星群

淺居, 本田, 小槇(孝), 勝浦, 小槇(茂), 大窪, 吉井, 宇野, 安武の諸氏によつて觀測された。輻射點は7月中に16個, 8月中に10個合計26個を得た。極めて明瞭に輻射點の東方移動が檢出された。

7月下旬に於て宇野, 小槇(孝), 小槇(茂), 吉井, 本田五氏の間に同一流星の觀測が行はれ, 實經路を決定し得たもの合計22個あるが, その中水瓶座流星群に屬すものと思はるゝもの5個を含んでゐる。

8月の大ペルセウス流星群

昨年は月明と天氣惡の爲極大期に充分觀測が出来なかつた。上旬には小槇(孝), 小槇(茂), 宇野, 本田の四氏の間に可成りよく觀測され, 輻射點の決定し得たものは5個ある。

其他の流星群

7月下旬にやゝ注意を惹いた流星群はペガス座 ϵ 流星群($a=323, \delta=+10$)及び魚座 β 流星群($a=344, \delta=0$)のもので, 前者は吉井, 小槇(孝), 宇野三氏により, 後者は小槇(茂), 安武の二氏により輻射點が得られた。

8月2日朝吉井氏の見られたアトリエ座 δ ($a=356, \delta=-26$)の流星群は比較的短時間の間に多數のものが見られたもので, 突發的のものであつたと考へられる。同じ朝吉井氏は南魚座 α 流星群の觀測に成功された。8月中に同一流星の觀測によつて實經路の得られたものは2個あつた。

× × ×

5月上旬の水瓶座 η 流星群は月明で甚だしくさまたげられるが, 月初の數日は月没後の觀測を希望したい。なほ下旬に蛇座流星群($a=237, \delta=+1$)及び射牛座 ϵ 流星群($a=270, \delta=-35$)の出現が認められるかも知れない。

(小槇孝二郎)

土星が東天から見え始めた! 日食のドサクサ紛れで, **土星輪の消失を見失ふな!!** 15ヶ年ぶりの珍景だぞ!!!

黄 道 光 課 報 告

●本年3月の観測は、愛知縣の寺町氏10回、鳥取縣の本田氏4回、其他1、2月より相當観測數あれど幹事の都合にて詳細報告は次回へ。

●數年來その眞剣なる観測に、又、最近には幹事として御活躍のあつた廣瀨氏御都合により辭任され、新進氣鋭の寺町氏が活躍されることとなつた。

尙最近大阪府の笹部氏は上海へ赴任せらるゝ由、氏の不規則光斑の観測を中斷せらるゝは惜しきことである。

●日食時の黄道光を究めるために目下の所アマチュア観測班の一行が花山観測隊に加はられることに決定した。大いに期待せられてゐる。(幹事)

反射鏡の鍍銀の依頼をお引受けします

鍍 銀 料				
口徑	料金	割引	送料	
	円	円	円	
21cm 以下	4.00	3.20	.50	◎鍍銀料は左の如く定めます。
16 ,,	2.25	1.80	.35	◎本會観測部員は二割引致します。
13 ,,	1.75	1.40	.30	◎送料は各自御負擔下さい。
11.5 ,,	1.25	1.00	.28	◎包装は完全にして下さい。
9 ,,	1.00	.80	.28	

観 測 部 器 械 課

太陽のいたづら? 昨1935年1月25日の夜、静岡縣下に現はれた大火球に伴ひ、名古屋無電局員に注意された電波異變は、其の後調査の結果、近來約54日毎に起ると言はれてゐる太陽電波異變の最初の現はれらしいことが知れて來た。〔花山急報 139 及 141〕

太陽課 黑點相對數報告 (1936年3月)

觀測者(觀測地)	松本(臺灣臺中高女)	日野(松山師範學校)	久保(高知高等學校)	伊達(兵庫縣雲雀丘)	野口(大阪市北區)	前田(京都市下京區)	尾崎(津市上濱町)	木邊(滋賀縣中里村)	香掛(長野縣青木村)	清水(靜岡縣島田町)	大石(靜岡縣吉永村)	森久保(橫濱市中區)	淺居(橫濱保土谷區)	服部(東京市大森區)	稻垣(東京市芝區)	菊池(岩手縣水澤町)
鏡徑耗	58	98	75	80	76	70	75	30	102	100	55	58	58	50	75	50
倍率	40	69	53	70	50	40	60	50	75	73	64	60	60	48	30	50
1	雨	49	81	70	60	36	49	53	112	73	52	50	66	欠	56	曇
2	曇	69	69	53	37	48	48	67	94	85	64	61	85	曇	53	曇
3	曇	67	忙	60	50	36	36	52	85	79	62	54	忙	曇	曇	曇
4	曇	58	曇	曇	曇	曇	25	曇	76	76	55	欠	曇	曇	曇	曇
5	曇	49	79	曇	曇	曇	51	曇	112	89	欠	50	曇	曇	曇	曇
6	曇	64	80	曇	曇	曇	38	78	101	忙	曇	61	曇	曇	曇	曇
7	曇	58	曇	曇	曇	曇	曇	80	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
8	曇	71	103	104	94	曇	欠	75	130	106	曇	曇	曇	曇	曇	曇
9	曇	63	90	106	曇	曇	39	73	115	109	曇	欠	曇	曇	曇	曇
10	曇	85	75	101	曇	曇	33	84	103	96	曇	63	曇	曇	曇	曇
11	曇	87	92	101	曇	曇	38	89	97	73	曇	76	曇	曇	曇	曇
12	曇	曇	雨	雨	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
13	曇	曇	雨	雨	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
14	曇	64	75	86	49	41	42	66	72	66	曇	曇	曇	曇	曇	曇
15	曇	62	66	72	71	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
16	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
17	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
18	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
19	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
20	曇	休	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
21	曇	104	104	104	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
22	曇	116	107	131	93	60	57	117	135	忙	曇	曇	曇	曇	曇	曇
23	曇	93	90	忙	72	48	55	68	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
24	曇	曇	63	69	14	24	16	42	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
25	曇	曇	62	63	15	13	21	欠	51	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
26	曇	曇	64	38	55	37	病	43	77	34	曇	曇	曇	曇	曇	曇
27	曇	曇	110	60	44	44	病	73	114	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
28	曇	曇	121	98	102	54	67	93	120	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
29	曇	曇	97	107	105	52	69	98	109	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
30	曇	100	91	69	102	61	38	122	115	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
31	曇	曇	102	117	115	79	75	122	136	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
日數	11	12	25	18	20	22	22	21	23	15	21	17	14	13	14	13
平均	89		84	84	68	45	44	77	98	89	65	66	82		61	87

●清水氏29日は寫眞觀測のみ。●本月は新しい觀測者野口氏を得た事を諸氏と共に喜びたい。そして、永續的に報告を寄せられむ事を希ふ。●朝鮮・滿洲方面に Comet のやうに現はれてはすぐ消えることのない觀測者の出現を待望する。